

令和4年度 第3回小牧市地域協議会推進市民会議 会議録

- 1 開催日時** 令和4年11月1日(火)
午前10時～正午

開催場所 小牧市役所 本庁舎3階 301会議室

2 出席者

- (1) 推進市民会議委員 17名(欠席:舟橋委員、石田委員、藤本委員)
- (2) 事務局 支え合い協働推進課 倉知課長、堀田主幹、臼井係長、落合、川口
- (3) 地域協議会代表者 5名(小牧原小学校区地域協議会3名、大城小学校区地域協議会2名)
- (4) 傍聴者 3名

3 会議資料

会議次第

資料 1 小牧原小学校区地域協議会の活動について

資料 2 大城小学校区地域協議会の活動について

資料 3 ヒアリングシート

4 会議内容

- 1 あいさつ
- 2 地域協議会代表者による活動発表
- 3 意見交換
- 4 その他(次回以降の会議予定)

【事務局】

本日はお忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。
ただいまより第3回小牧市地域協議会推進市民会議を開催いたします。
本会議では新型コロナウイルス感染防止のため、会議中は原則マスクの着用をお願いしております。万一、息苦しさなどを感じられた際には、一時的にマスクを外していただいても構いませんが、発言の際にはマスクの着用にご協力をお願いいたします。それでは、資料の次第に従って進めさせていただきたいと思いますが、市民憲章の唱和については、省略させていただきます。それでは、司会進行は会長にお願いしたいと思いますが、はじめにご挨拶をお願いします。

【加藤会長】

改めまして、おはようございます。前回までは暑い時期だったのですが、11月ということで肌寒くなってきました。体調の方は大丈夫でしょうか。今日も2つの地域協議会から活動の報告、事例発表があり、その後みなさんと意見交換をしていただきたいと思いますので、有意義な時間になれるようみなさんも協力いただけると嬉しいです。よろしくをお願いします。

【事務局】

では、加藤会長、次第に従いまして進行の方、よろしくをお願いします。

【加藤会長】

では、進行に入りたいと思います。会議を始めます前に、この会議は、「小牧市地域協議会推進市民会議設置要綱」第5条3項に基づき、会議は公開することとされています。本日は、3名の方の傍聴がありましたので、ご報告いたします。では、次第の2にいきます。地域協議会の代表者による活動発表をおこないます。まずは小牧原小学校区地域協議会の皆様、ご準備をお願いします。その間、事務局から説明をお願いします。

【事務局】

ご準備の間、推進市民会議委員の皆さまに説明をさせていただきます。前回と同様に小牧原、大城と2つの協議会から活動の発表をしていただきます。お手元にパワーポイントの資料をお配りしておりますので参考にしてください。発表で気になった点、掘り下げたほうが良いと思った点はヒアリングシートに記載をお願いします。ヒアリングシートは会議後、一旦事務局にて回収をさせていただきますので、お名前の記入をお願いします。準備が整ったようですので、小牧原小学校区地域協議会の皆様から発表をお願いします。

[小牧原小学校区地域協議会 森会長、塚原交流部会長、阿南学童通学安全プロジェクト代表より資料1に基づき説明]

【加藤会長】

ありがとうございました。小学校と良い関係を作られていて、こどもの笑顔と地域の繋がりを良く結びつけていると感じました。課題が「人」、「事業」、「情報」、担い手がなかなかいないということ、どうやって事業を広げていくか、集まってもらうにはどうやって声掛けしていくのかというのは他の協議会にも通じると思いました。後で3名とお話しできるのですが、全体で確認しておきたいことがあれば挙手いただけますか。無ければ発表いただいた3名に拍手をお願いします。

では、入れ替えで大城小学校区地域協議会のご準備をお願いします。この間にヒアリングシート書いておいてください。では拍手でお迎えください。

[大城小学校区地域協議会落合会長、村上副会長より資料2に基づき説明]

【加藤会長】

ありがとうございました。大城小は大きく2つ紹介してもらい、おたすけ隊の活動ではアンケートをとって高齢者が困っているというところから始められてとはいえ、隊員の方が高齢化していたり、依頼に対して隊員が少ないという悩みを抱えているというお話しがありました。もう1つ新規事業として、コロナに備えて声を出さない、屋外で宝さがしを行う事業や、

スマホ教室の事業で、先ほど公式LINEの話がありましたが、使える人がいないとなかなかスマホを使って情報発信ができないのでとても良い取り組みだと思いました。では、大城小学校区地域協議会の皆さんに全体で確認したいことはありますか。では、もう一度お二人に大きな拍手をお願いします。5分間休憩を入れます。お疲れ様でした。

[休憩]

では、再開します。今からやるのは、前回と同様、ワールドカフェ方式で話し合いをしたいと思います。4つのテーブルに分かれ、それぞれAは小牧原の学童通学安全プロジェクト、Bは小牧原の交流部会、Cは大城のおたすけ隊、Dは大城の新規事業で、自分の関心があるグループにいてください。2ラウンドおこなうので、4テーブルある中で2テーブルを回っていただきます。移動したあと、2分で自己紹介をし、18分で質疑応答・意見交換をしてください。今回、前回と違うのは、真ん中に大きな模造紙があります。話をしているなかで、「いいキーワードだな」「いいアイデアだな」と思ったことは記録として模造紙に残してください。なぜかという、2ラウンド目に来た人が、1ラウンド目に「そんな話をしたんだな」というのがわかり、その上に2ラウンド目も書き込めるので、記録に残すことも頭の片隅に置いておいてください。20分経ったら違うテーブルにということをおこなって最後に感想を分かち合って終わりにしたいと思います。自分の意中のグループを2つ、全体の人数のバランスも見ながら回っていただきたいと思います。では、関心のあるテーブルに移動してください。

[席移動、各テーブルで自己紹介、発表の感想、意見交換 20分]

【加藤会長】

時間になりました。テーブルホスト役の地域協議会代表者に拍手をお願いします。では、別のテーブルに移動してください。

[席移動]

【加藤会長】

2ラウンド目なので、最初の2分間だけ先ほどと違うのは、1ラウンド目にこんな話をしたということが模造紙に書いてあるかと思いますが、テーブルホストにしかわからないと思います。2分間だけこんな話がでたという紹介をして、20分間お話しをしてください。お願いします。

[各テーブルで1ラウンド目の紹介、発表の感想、意見交換 22分]

【加藤会長】

時間になりました。お疲れ様です。

テーブルホストはそのまま座っていただいて、それ以外の方は好きな色マーカー1本持ってください。自分が1ラウンド目にいたテーブルも書き足されていると思うので、4分間で全テーブルを見て回って「いいな」と思ったものに二重丸をつけてください。3つまでつけていいことにします。では、お願いします。

[各自テーブルを見て回る 4分]

【加藤会長】

ありがとうございました。今日は4つのトピックスを発表で聞き、2ラウンドで自分の意中のグループで話を深めたと思うので、全体を通して気づいたこととか、印象に残ったことを何人かに話してもらってお別れしたいと思います。1人目は関さんお願いします。

【関委員】

最初はCグループ（大城 おたすけ隊）、その後はAグループ（小牧原 学童通学安全プロジェクト）にいきました。やはり、担い手をどのように確保するかということが課題としてあったのですが、特に印象的だったのが、Aグループの学童通学安全見守りです。今、小学生のこどもがいる親として、これだけ手厚く地域の方に見ていただいているというのが非常に素晴らしい活動だと思いました。なので、担い手を集めるということも1つで

すが、熱心に活動されているということをもまずは知っていただくということが担い手づくりに繋がるのかなと思いました。今日は、普段通学路で見守っていただいている方の見え方が変わり、とてもいい話が聞けました。ありがとうございました。

【加藤会長】

ありがとうございました。2人目は関さんの指名をお願いします。

【安藤委員】

今の時代、どうやって情報を提供していくかが重要。それに目を通し、触れてこそ関心を持ってくれると考えた時に、既存の学校のホームページにリンクを貼って、そこに地域協議会が1つ窓を作っていただければそこに入り込んだ地域協議会も見ることができます。独立してもらうのが1番いいですが、今すでにあるものを使うとしたら、学校のホームページが非常に手頃なところで、あとはどのような情報を提供するのかというのを校長先生と相談しながらやっていき、PRをしていくといいと思います。それからもう1つ、ダブルダッチ（小牧原小学校区地域協議会の交流部会）の技術が15分間で小牧の子ども達に身に付くというのは、ひとつの出会いだと思います。日頃、映像でしか見てこなかったダブルダッチを実体験できる、それを子どもがきっかけにして世界に羽ばたくかもしれない。そんな出会いを作ってくれた小牧原の取り組みは素晴らしいとお聞きしました。

【加藤会長】

ありがとうございました。安藤委員からご指名をお願いします。

【山本委員】

Bグループ（小牧原 交流部会）とCグループ（大城 おたすけ隊）に参加しました。Bグループについては、世代間の交流が1番大切なのかなというところで、色々工夫をされて、いかに人を巻き込んでいくかというところがすごく印象的でした。Cグループですが、おたすけ隊と言いながら、支援対象の条件は65歳以上の一人暮らしと書いてあるのですが、やって

いるスタッフが高齢化して70代以上というところが難しいなということがあるのと、おたすけ隊というW I N W I Nの関係がすごく大事ななと思っているのですが、一方的に、ただ安価なところに頼んでやってもらいたいな感覚で思っている方が出てきているということは違うのかなと感じました。

【加藤会長】

ありがとうございました。山本委員、ご指名お願いします。

【兼子委員】

村中小学校の兼子です。今日、発表を聞かせていただき、色々充実した取り組みがあるなと思いながら、この仕事ってP T Aの方がやってみえるよなとか、この仕事ってパトロールボランティアがやってみえるよなとか、それぞれの団体のすみ分けはどうなっているのかなと思い、聞かせていただきました。Aグループ（小牧原 学童通学安全プロジェクト）では、学校のパトロールボランティアと地域協議会のプロジェクトチームはやっている内容とか目的が少し違うということが確認できました。それから、パトロールボランティアでやっていることが啓発されて学校のP T Aのお母さんたちが「私たちも頑張るやろう」という刺激になるといいねという話もありました。それから、Bグループ（小牧原 交流部会）で、P T A行事に乗かってパトロールボランティアのブースが入るということがありました。そういったことを聞かせていただいて、改めて目的を確認し合ったりだとか、仕事を整理したりだとか、そういうことがこれから大事ななということを感じて聞かせていただきました。ありがとうございました。

【加藤会長】

ありがとうございました。兼子委員、最後の方のご指名お願いします。

【船橋委員】

三ツ渚学区の船橋です。Aグループ（小牧原 学童通学安全プロジェクト）とDグループ（大城 新規事業）を見させていただきましたが、Aグループの学童通学安全プロジェクトは学校のボランティアとよく似ているなと

いう雰囲気ですので、一緒にできないのかなと思いました。また、Dグループ（大城 新規事業）のスマホ初心者使い方相談会では、私も三ツ湊区のシニアクラブで2回やったのですが、高齢者の方には、あまりスマホの使い方がわからない方もいます。色々勉強になるとと思いますので、広まればいいなと思います。

【加藤会長】

ありがとうございます。先ほどパトロールが重なっている一方で、地域協議会が取り組んでいるからこそ小学校区全域に目が届くのではないかというご意見があったりして、もちろんすみ分けをしたり連携することも大事ですが、誰がやるかで届き方や認知の仕方が変わるということもあるかもしれないので、上手に連携しながらどうやって情報発信、誰が主体になっていくかということも工夫されるといいかと思います。では、拙い進行でしたが、ここで私の進行は終わりにしたいと思います。お互いにグループのメンバーに拍手をお願いします。

【事務局】

ありがとうございました。長時間に渡りますけども、この会議では皆さま、本当に活発に意見を交換していただきまして、大変実りあるものだと思います。いただいた貴重な意見につきましては、私ども色々検討していきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。また、この会議につきましては、次回については年明け2月前後あたりで開催したいと思います。改めてご連絡差し上げますので、よろしく願いいたします。これで第3回小牧市地域協議会推進市民会議を閉会させていただきます。皆さま、お疲れ様でした。ありがとうございました。